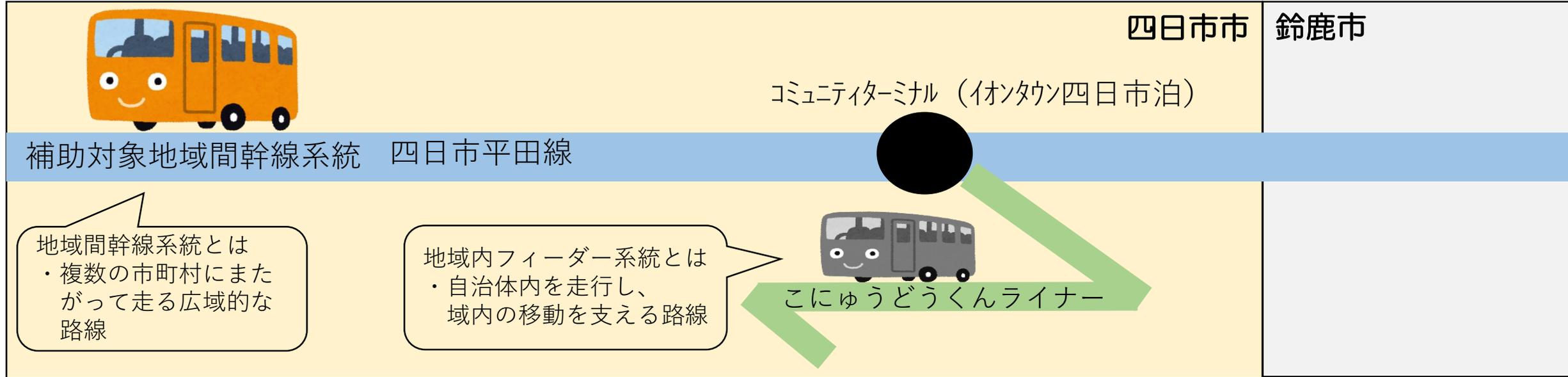


令和7年度地域公共交通計画
(フィーダー系統)認定申請

参考資料

地域間幹線系統・地域内フィーダー系統と補助制度について



【地域内フィーダー系統補助】 (市町)

〈目的〉

- ・地域の状況に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援

〈補助率〉

- ・ 1/2 以内

〈主な補助要件〉

- ・ 補助対象地域間幹線系統バス系統等に接続するフィーダー系統であること
- ・ 新たに運行を開始するもの又は公的支援を受けるものであること
- ・ 路線定期運行の場合、輸送量が2人/1回以上であること
- ・ 経常赤字であること

【地域間幹線系統補助】 (県)

〈目的〉

- ・ 地域の状況に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、地域間交通ネットワークを形成する地域間幹線系統の運行について支援

〈補助率〉

- ・ 1/2

〈主な補助要件〉

- ・ 複数市町村にまたがる系統であること
- ・ 1日当たりの計画運行回数が3回以上のもの
- ・ 輸送量が15人~150人/日と見込まれること
- ・ 経常赤字が見込まれること

事業目標の設定について

こにゅうどうくんライナーの利用者数実績

単位：人

年月	小山田病院発	県立総合医療センター発	合計	1日あたりの乗車人員数
令和2年 10月	296	225	521	23.7
令和2年 11月	268	95	363	19.1
令和2年 12月	276	119	395	18.8
令和3年 1月	242	141	383	21.3
令和3年 2月	234	133	367	20.4
令和3年 3月	309	170	479	20.8
令和3年度 上半期	1,625	883	2,508	20.7

令和3年 4月	305	210	515	23.4
令和3年 5月	232	157	389	21.6
令和3年 6月	307	208	515	23.4
令和3年 7月	289	202	491	24.6
令和3年 8月	259	176	435	21.8
令和3年 9月	294	226	520	26.0
令和3年度 下半期	1,686	1,179	2,865	23.5
令和3年度 通年	3,311	2,062	5,373	22.1

単位：人

年月	小山田病院発	県立総合医療センター発	合計	1日あたりの乗車人員数
令和3年 10月	278	218	496	23.6
令和3年 11月	283	198	481	24.1
令和3年 12月	294	175	469	22.3
令和4年 1月	238	159	397	22.1
令和4年 2月	230	152	382	21.2
令和4年 3月	274	183	457	20.7
令和4年度 上半期	1,597	1,085	2,682	22.3

令和4年 4月	268	180	448	22.4
令和4年 5月	246	174	420	22.1
令和4年 6月	270	211	481	21.9
令和4年 7月	251	179	430	21.5
令和4年 8月	224	184	408	19.4
令和4年 9月	256	167	423	21.2
令和4年度 下半期	1,515	1,095	2,610	21.4
令和4年度 通年	3,112	2,180	5,292	21.9

単位：人

年月	小山田病院発	県立総合医療センター発	合計	1日あたりの乗車人員数
令和4年 10月	270	192	462	23.1
令和4年 11月	282	213	495	24.8
令和4年 12月	269	189	458	21.8
令和5年 1月	215	148	363	22.7
令和5年 2月	242	163	405	21.3
令和5年 3月	286	196	482	21.9
令和5年度 上半期	1,564	1,101	2,665	22.6

令和5年 4月	281	189	470	23.5
令和5年 5月	284	172	456	22.8
令和5年 6月	301	184	485	22.0
令和5年 7月	299	194	493	24.7
令和5年 8月	297	176	473	23.7
令和5年 9月	294	203	497	24.9
令和5年度 下半期	1,756	1,118	2,874	23.6
令和5年度 通年	3,320	2,219	5,539	23.1

単位：人

年月	小山田病院発	県立総合医療センター発	合計	1日あたりの乗車人員数
令和5年 10月	314	223	537	25.6
令和5年 11月	279	175	454	22.7
令和5年 12月	295	203	498	23.7
令和6年 1月	253	187	440	24.4
令和6年 2月	257	214	471	24.8
令和6年 3月	302	220	522	26.1
令和6年度 上半期	1,700	1,222	2,922	24.6

令和6年度（令和5年10月～令和6年9月）の1日あたりの利用者数見込みは、24.1人とする。（令和5年度下半期と令和6年度上半期の平均値）

そのため、令和7年度の目標は、新たな利用促進策に取り組むことで、24.5人と設定する。

また、全体として、令和3年度（22.1人）から令和5年度（23.1人）の2年間で1人増えており、社会的にも公共交通利用者は減少傾向にあるなか、大幅な増加を見込むことは難しい状況にあるため、今年度から目標設定を1年で0.5人ずつ増やすこととしたい。

こにゅうどうくんライナーの収支率

	経常収入（円）	経常経費（円）	収支率（％）
令和3年度	1,093,948	14,244,104	7.6
令和4年度	989,515	14,750,608	6.7
令和5年度	1,064,249	15,378,344	6.9

収支率については、利用者数増加に伴い経常収入が増加しても、燃料費の高騰等に伴う経常経費の増加という不確定要素がある。直近の収支率は6.9％となっていることから、令和7年度の収支率は7％以上とする。

中運交企第191号
令和6年3月21日

四日市市地域公共交通活性化協議会
会長 伊藤 勝美 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和4・5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	四日市市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・乗り継ぎ拠点のバス待合室の窓に、バス利用を促す標語を設置し、待合室利用者以外にも見てもらうことでバス利用の啓発を行ったことを評価します。

期待する取組

- ・引き続き、関係者との連携・共創の下、商業施設と連携した利用促進イベントなど、地域の方々に知ってもらい乗ってもらえるようなきっかけ作りにつながる取組の検討や実施を期待します。